

DAIMLER

私たちのインテグリティ規程 正しい行い。



内容

- 01 はじめに
P. 4
- 02 私たちが目指すこと:インテグリティと企業理念を理解します
P. 6
- 03 働き方について:私たちのインテグリティ規程
P. 8
- 04 インテグリティ規程の遵守
P. 32
- 05 用語集
P. 35



はじめに

親愛なる従業員の皆様、

カール・ベンツとゴットリーブ・ダイムラーが初めて自動車を製造した当時、最も強力なライバルといえば馬でした。当時の人々の多くは、馬に勝てるものなどないと信じていました。ところが、自動車は日常生活における最も重要な輸送手段として、その価値を認められました。そして135年以上が過ぎてもなお、ダイムラーは世界をリードする車両メーカーであり続けています。過去に目を向けることで私たちが知るのには、ダイムラーでは新しい世代の人々が、どの時代でも挑戦を続けてきたからこそ、馬に勝ち、競争を乗り越えてきたということです。

現在の私たちにとって、挑戦とはどのようなものでしょうか？ 新しい技術、お客様のニーズ、そして競争。私たちを取り巻く環境は常に変化し、カール・ベンツとゴットリーブ・ダイムラーの生きていた時代の後、さまざまな出来事がありました。経済はグローバルになり、社会もはるかに多種多様になりました。そして、技術に対するニーズが高まるに従い、責任ある企業として、私たちの行動に対する期待もさらに大きくなっています。

それでも、私たちの信念は変わりません。私たちにとって重要なのは、誠実な振る舞いです。それが私たちの行動の基本となります。

このような今日の時勢に合わせて、ダイムラー・インテグリティ規程を改定しました。改定のプロセスには、世界各国のさまざまな事業部門の従業員が参加しました。この規程は、日常の困難な状況において、私たちにあらゆる方向性を示すと共に、正しい決定を下すための助けとなります。

世界的にも、各国においても、私たちが社会的責任を適切に果たしていくならば、必ず長期的にわたって成功を収めていくことができると確信しています。ここで、皆様にお願ひがあります。カール・ベンツとゴットリーブ・ダイムラー、そして何世代にもわたって、私たちの会社の歩みに関わってきたあらゆる人々が、私たちに誇りに思えるような行動をしてください。そうすれば、ダイムラーはこれからも正しい道を進んでゆくことができるでしょう。

取締役: (写真上段左から) Ola Källenius (Chairman of the Board of Management/Mercedes-Benz Cars), Martin Daum (Daimler Trucks & Buses), Renata Jungo Brüngger (Integrity and Legal Affairs), Wilfried Porth (Human Resources and Director of Labor Relations & Mercedes-Benz Vans) (写真下段左から) Markus Schäfer (Group Research & Mercedes-Benz Cars Development), Britta Seeger (Mercedes-Benz Cars Marketing & Sales), Hubertus Troska (Greater China), Harald Wilhelm (Finance & Controlling/Daimler Mobility)

01 はじめに



ダイムラーでは皆、常に最善であることを目指しています。

ダイムラー¹で働く人は、私たちが常に最善であろうと努力していることを知っています。私たちは最先端のテクノロジーを生み出し、最高の車両を製造し、インテリジェントなモビリティソリューションを提供します。こうした、**追従を許さない卓越したサービスおよび商品への要求²**は、従業員同士や、顧客、ビジネスパートナーとの関係にも同様に適用されます。そして私たちの社会的責任も、社会の模範となることで果たすことができます。

ダイムラーは国連グローバル・コンパクトの設立メンバーであり、世界的な責任を負っています。

国連グローバル・コンパクトの設立メンバーとして、私たちは人権を保護し、従業員と労働組合等権利を尊重し、環境を保護し、公正な競争を可能にし、**汚職**を防止する義務を負っています。

すべての従業員が、正しく行動することを求められています。

しかしながら、世界的に模範となる企業であるためには、現場(すべての製造工場、すべての事務所)で責任を持って仕事をしなければなりません。私たちは、本インテグリティ規程に反する、違法行為または不適切な行動を容認しません。そのため、本規程で定められている決定事項は、Daimler AG³および管理下にあるダイムラー・グループ会社の全従業員が遵守する**義務があります**。

私たちの企業バリューである、尊重・情熱・規律・誠実は、私たちの仕事の基礎となるものです。

ダイムラーにおける仕事の基礎は、4つの企業バリューである:尊重・情熱・規律・誠実です。従業員、顧客、ビジネスパートナーに対し**感謝の気持ちを持ち、相手を尊重する、そして情熱**をもって、毎日最善を尽くすことこそが私たちの成功の基本となります。また**規律**とは、挑戦に挑み、さまざまな利害を考慮しながら私たちの目標を達成することです。私たちが**誠実**であることで、持続可能な成功を収め、そして社会に貢献することができます。これらの価値観が、ダイムラーにおいて、企業バリューの基礎を作っています。

1 本規程において「ダイムラー」とは、Daimler AGと管理下にあるダイムラー・グループ会社を指します。

2 色付き文字で記載されている本文の用語は、用語集に説明があります。

3 本規程では文章をわかりやすくするため、男女を区別して記載していません。内容は、常にすべての性別を対象としています。「従業員」という用語には、全レベルの管理職と経営組織メンバーも含まれます。

02 私たちが目指すこと： インテグリティと企業理念を理解すること

インテグリティ(誠実)は、ダイムラーにとって中心となる価値観であり、私たちの心の中に刻み込まれています。本インテグリティ規程は、私たちが決断を下す必要のある、すべての状況を取り上げているわけではありません。特に、明確な規則がなかったり、異なる解釈が可能な状況である場合においては、正しい行動が大変重要となります。

インテグリティとは、私たちの価値観を実践し、正しい行いをすることです。それは、社内と社外の規則を守り、企業バリューにふさわしい行動を取ると同時に、私たちの心のコンパスに耳を傾けることが大切となります。その際、指針となるのは5つの企業原則であり、私たちは全員でこれを実践します。



私たちの企業理念

私たちは、利益を生み出し、人と環境に貢献します。

私たちは自分の仕事で利益を生み出し、人と環境の調和を図ります。

私たちは魅力的な車を製造し、モビリティに関するあらゆる革新的なサービスを提供してこそ、成果と利益を上げることができます。それは私たちが経済的に成功したときにのみ、未来の展望を示すことができるからです。当社の最も重要な資本は、ダイムラーのために働く人であり、彼らが持っている情熱です。そのため、私たちは従業員ひとりひとりの成長に繋がる投資を行います。持続可能な環境への取り組みは、私たちにとってとても重要であるため、私たちは環境を保護し、責任を持って会社の資源を取り扱います。そうすることにより、収益性、人、環境の調和を図ることを、私たちは約束します。

私たちは、責任ある行動をし、規則を守ります。

私たちは、法律と規則を守り、責任を負います。

ダイムラーでは、規則に従い、自らの行動と決断に対して責任を負います。つまり、私たちは、法律、社内および社外の規則、従業員代表との合意、個人の責任感、そしてこのインテグリティ規程を遵守するという事です。私たちは、自ら決断を下し、これらを守って行動する事を誰もが望まれています。

私たちは、テーマについてオープンに話し、透明性を保ちます。

誠実性、オープンであること、そして透明性は、私たちの行動の基本です。

私たちの行動の基本は、社内でも社外でも同様に、誠実であること、オープンであること、透明性を保つことです。このようにすることにより、私たちは信頼を築き上げることができます。私たちは過去から学ぶことにより新しい課題を見つけることができます。私たちは、正しくない場合や正しくないと感じるとき、自分の意見を隠さず話せるようにお互い努力することが大切です(声を上げる文化(スピークアップ))。そのためには、良くない結果となることを心配せず、遠慮なく指摘できる雰囲気を作り出すことが大切です。そうすることにより、異なる意見は尊重され、他の人の決定に対する質問を促します。

公正さと敬意が共同作業の基盤です。

信頼、公正、敬意は、私たちの共同作業に欠かせないものです。

ダイムラーでは、互いに公正さをもって、敬意を払い人と接することが望まれています。チーム精神、相互の信頼、尊重し合う関係は、私たちにとってとても重要です。これは従業員だけではなく、顧客やビジネスパートナー、そしてその他のすべての人に対しても同じことが言えます。

私たちは、多様性を実現します。

従業員がそれぞれ異なる人間であることは、私たちの長所です。

ダイムラーにおいて、多様性は、法律を遵守することにとどまりません。ダイムラーでは、従業員がそれぞれ異なる人間であることは長所であり、私たちの成功の鍵でもあります。さまざまな能力、ものの見方、経験が、新しい変化の基礎を形づくり、世界中の顧客の要望を理解するためにとても役に立ちます。相手を尊重すること、異なるものを受け入れること、そしてチーム意識は、私たちの企業文化の特徴の一つです。

03

私たちの働き方：
私たちの行動規範



共同作業の基盤

多様性と機会均等

多様性や個性と積極的に関わることは、私たちの企業戦略の1つです。

差別は許されません。私たちの目標は、機会均等です。

私たちは寛容の文化を築きま
す。いじめは排除します。

ダイムラーは、私たち従業員個人々の違いを尊重すべきであると考えています。そのため、多様な人材を受け入れ、個人を尊重し活かすことは、企業戦略の1つであり、この戦略が**多様性や個性と積極的に関わる企業風土**を築いています。グローバル企業である私たちにとって、成功を収めるためにそれは不可欠な条件といえます。

企業理念に基づいて、私たちは互いにオープンであり、相互に尊重し合い、お互いを許す寛大さを持ち、公平な振る舞いをします。すべての人に対して**機会均等**であることが、私たちの目標です。**差別**はどのような形であっても許されません。特に、次のような理由による**差別**は許容されません:

- 性別、民族、出身、および国籍
- 宗教および世界観
- 政治的、社会的活動、または労働組合の活動
- 性同一性または性的指向
- 身体的障害や精神的障害
- 年齢

ダイムラーでは、従業員個人々の権利を尊重しています。各自が個性を発揮し、職場で全能力を発揮できるようにすることで、私たちは、**寛容**の文化を築いています。あらゆる形の**差別**、侮辱や**いじめ**は、私たちの抱くイメージと矛盾しており、ダイムラーにあってはならないものです。公平で、寛容で、尊敬に満ちた、仲間意識のある労働環境を作ることは、私たち共通の課題です。



健康と安全

健康と安全および健康的な生活は、ダイムラーの従業員にとって優先順位が高い重要なものです。

私たちは、コミュニケーション部門と共同で、社外公表の内容を取り決めます。

公共の場に出る場合、個人的な見解は個人のものとして認識されるようにします。

安全な労働条件は、私たちにとって重要性が高いです。

私たちは労働災害と職業病を防止します。

私たち全員が、職場での健康と安全に責任を負っています。

ダイムラーは従業員に対し、健康に関する予防プログラムを提供しています。

ダイムラーを代表して

ダイムラーでは責任を持って企業情報を取り扱うことが、求められています。そのためダイムラーは、社内合意の上で統一された情報が確保されるプロセスとなっています。(ダイムラーを代表する意見)。

そのため社外発表は、あらゆるメディア(オンライン、印刷物、テレビ、ラジオ放送、ソーシャルメディア)、またスピーチ、講演、インタビュー、パネルディスカッションに関して、企業コミュニケーション部門と取り決めを行う必要があります。

従業員の発言には、自由に意見を表明する権利が適用されます。私たちがダイムラー従業員として認識される、公共の場、イベント、公開オンラインフォーラム、またはソーシャルメディアネットワークで意見を表明する場合、**個人的な見解**が個人のものとして認識されるようにしなければなりません。

健康および安全

従業員の健康と安全および健康的な生活環境は、ダイムラーにおいて非常に重要なことの一つです。私たちは、誰もが能力を最大限に発揮し、心身の**健康**が維持できる労働環境を作っています。

高い技術と働く環境の**安全基準**は、私たちの仕事の基礎となります。その目的は、労働災害と職業病を防止することです。そのために従業員が協力し合うことを、私たちは確信しています。

私たち全員が、職場での健康と安全に責任を負っています。ダイムラーでは、労働安全規定を遵守し、必要とされる安全装備を使用しています。各自が、安全な労働条件に留意し、予測される安全リスクと健康リスクを報告します。アルコールおよび薬物が自らの安全または他者の安全や心身の健康を脅かす場合には、これらの影響を受けた状態で作業を行ってはなりません。

ダイムラーは、国別の健康推進プログラムおよび**予防**プログラムを提供し、特に以下の分野に従業員が積極的に関与するようにしています:

- 産業医療と労働保護
- 職場における健康促進
- 人間工学
- 社会復帰
- カウンセリング



仕事とプライベートの
バランスを図ります
ダイムラーは、仕事とプラ
イベートの両立を支援する
労働条件を作ります。

仕事とプライベートのバランスを図ります

ダイムラーは、仕事とプライベートの両立を支援する労働条件を作ります。

私たちの**企業文化**は、相手に対する信頼と敬意に基づいています。ダイムラーは、**人生の状況**に合わせて従業員個人々々を支援できる基本条件を作り、彼らが最善を尽くして能力を発揮できる環境を整えます。そうすることで、すべての従業員は企業の成功に最大限貢献できるようになります。そのために、会社の規定に則り、仕事とプライベートを両立できる、多彩な選択肢とプログラムを国別に提供します。

利益相反

私たちは個人と企業の利益について慎重に考えます。

ダイムラーは、従業員個人々の利益とプライベートを尊重します。しかし、個人の利益や経済的利益が、ビジネス上の意思決定に影響を及ぼしてはなりません。

利益相反がある場合はこれをオープンにします。

従って、個人的な利害やプライベートでの経済的利害と、**会社の利害**またはそのビジネスパートナーの利害が対立する状況を避ける必要があります。このような**利益相反**がある場合、私たちはこれをオープンにし、上司と共に、会社の利益に影響を与えないよう解決策を考えます。

利益相反は、例えば従業員が以下のような行為をした場合に生じます:

- 贈答および招待を受けたり、提供したり、保証したりした場合
- 他企業の委員会メンバーである場合
- 副業に従事している場合
- 競合他社に協力している場合

従業員代表との共同作業

私たちは従業員代表と共に、建設的な共同作業を行います。

私たちは**社会的責任**を負っています。そしてすべての従業員、従業員代表および労働組合と共に、尊敬と信頼をもって共同作業を行います。その際私たちは、企業の利益と従業員の利益が、公正にバランスをとることを共に目指します。係争のような対立においても私たちの目標は変わらず、**建設的な共同作業**の基礎を作る努力を共にします。

資源の取扱い

私たちは、資源を大切にそして持続可能に取り扱います。

私たちは、資源を大切にそして持続可能に取り扱います。その理由は、株主に対する敬意と義務を基本とし、私たちに社会および環境に対する責任があるからです。また、持続可能な事業を行う企業で働くということが、私たち**自身の利益**となるからでもあります。

私たちは会社の資源を、業務上の目的のみに使用します。

私たちは、会社の物品、知的財産、そして会社の資産およびその他資源を、基本的に業務上の目的のみに使用します。例外は、会社の規則が会社資源の**私的な利用**を認めている場合に限ります。資源の**浪費**は、会社の財産を減らすだけでなく、**評判を損ない、風評被害をもたらす**可能性があります。そのため私たちは身近な環境においても自分で責任を持って、資源を大切に使用することを心がけます。

私たちは情報が持つ価値を理解し、保護します。

私たちは責任を持って会社の情報を取り扱います。なぜなら、情報は私たちの最も重要な資産の1つだからです。そのため、情報を保護しその安全を確保することが、**ダイムラー**にとってはとても重要なこととなります。ビジネスパートナーへの対応や彼らの私的な催しに参加するなどに拘わらず、**ダイムラー**に関する情報を明かしたり、部外者が許可なく私たちのビジネスプロセスを知るなどということがないよう細心の注意を払います。そのため、私たちは**情報セキュリティ**に関する基本条件を適用また使用して、取り扱う情報に対して責任を負います。

企業機密は特に厳重に保護します。

企業機密、例えば発明、新製品や車両コンセプトなどは、私たちが競合他社よりも優位に立つための重要な要素です。従って、私たちはこの情報を特に厳重に保護しなくてはなりません。そのため、私たちは企業機密保護に関する法律と社内規程を遵守し、競合他社、ビジネスパートナーおよび顧客の企業機密にも注意を払うことが必要となります。

法律の遵守

製品の安全性と技術に関わる規則の遵守

私たちは、最大限に安全な未来のモビリティをデザインします。

ダイムラーで働く私たちにとって、製品の品質を確保することは非常に重要なことです。当社の歴史を振り返ると、車両の安全性の面で何度も新基準を打ち立ててきました。今日においても、当社のすべてのステップにおいて、**未来のモビリティを最大限安全にデザインすること**を目指しています。

私たちは、有害物質排出と温室ガス削減のために、技術開発を利用します。

製品の技術開発では、**有害物質排出低減**の目標を追求し、空気の質を常に改善し続けています。さらに、温室ガスの排出量を持続的に低減し、環境保護に貢献するよう努めています。

私たちは製品が法律や規制に適合していることを保証します。

私たちは**製品のライフサイクル**全体にわたって、プロセスと製品が**法律や規制に適合していること**を保証しなくてはなりません。その際、関連する法律および規則の意義と目的を考えなくてはなりません。法的な基本条件が不明確な場合、従業員の指針は当社の**企業理念**であり、また既存の周知された組織やプロセスに従うこととなります。

私たちは専門家として、製品の信頼性を高めます。

私たちは従業員として、重要な役割を担っています:製品の**最初のアイデアから廃棄に至るまで**、私たちは専門家として、法的要件と社内要件、顧客や社会の期待を考慮し、私たちの製品に対する信頼性を高めます。

私たちが何かを行う場合は常に、その振る舞いが与える可能性のある影響について考えます。

私たちはビジネスに該当する規則を知り、知識レベルが常に最新であるよう努力します。**製品ライフサイクル**のすべての段階で、私たちの振る舞いが与える可能性がある影響について考えます。そのため、職場環境に潜在するリスクについて、私たちはオープンに話し合います(声を上げる文化(スピークアップ))。

税金および関税の規定

私たちは、税金および関税の法律を遵守します。

ダイムラーでは、**税法および関税法**の規定を遵守します。これには法人税、所得税および付加価値税、物品入手時に支払う関税および消費税などが含まれます。

私たちは、無理な減税手段を拒否します。

税金および関税について、適切な時期に正しい説明を行うことは、ダイムラーにとって基本的な事です。私たちは原則として、無理な**または違法な減税手段**を取りません。強引な税金対策は、持続的な成功を求める私たちの目標には合いません。



製品の安全性と技術に関わる規則の遵守
ダイムラーで働く私たちにとって、
製品の品質を確保することが優
先順位が高い重要なことです。

独占禁止法

競争が正しく自由に行われることは、私たちの経済活動の要です。

私たちは公正な競争を守るよう努力します。

各従業員は、自分の部門に関係する規則を理解していません。

競争が正しく自由に行われることは、社会的及び経済的活動の基本柱の1つです。これにより、経済成長と雇用が生み出され、私たち全員が消費者として最新の製品を手頃な価格で入手することが保証されています。

競争が正しく行われることで、ダイムラーも恩恵を受けています。なぜなら、違法な契約や高すぎる価格から、私たちを保護してくれるからです。私たちは、市場で公正な競争を行い、独占禁止法(競争法)を遵守するよう努めます。

独占禁止法違反のリスクは、極めて多様な分野に潜んでいます。例:

- 競合他社との情報交換およびベンチマーキング時
- 出資および提携に関連して
- カスタマーサービスおよび販売に関連して
- 販売支援が許可されている場合(セールスインセンティブ)
- 事業者団体の活動に際して

私たちは法律や社内規則を守る上で、各自が重要な役割を担っています。そのためには、各従業員が、自分の部門にどの規則が関係するか理解していることが前提となります。

外国為替及び外国貿易管理法

私たちは外国為替及び外国貿易管理法のすべての規則を遵守します。

取引禁止国に関しては、特に注意が必要です。

外国為替及び外国貿易管理法の規則を厳格に遵守することは、ダイムラーのような世界的企業にとって基本的な事項です。この規則は一般的に、物品や有形及び無形財産及びサービスを輸出する際に最新の注意を払う必要があります。基本的に、**軍用品**及び軍事使用に可能な民生品には制約があります。

さらに「特定の物品と特定の国には、**軍備または贅沢品の輸出禁止**」といった、特別な制限が適用されます。従業員は、各自の責任において外国為替及び外国貿易管理法を厳格に遵守することが求められています。

経済制裁と資金洗浄防止

私たちは制裁措置を参照し、資金洗浄とテロリスト資金調達防止を支持します。

私たちは、企業犯罪防止を目的としてビジネスプロセスを確立します。

グローバルに活動する企業として、私たちは国内および国際的な**経済制裁**に注意し、**資金洗浄とテロリスト資金調達の防止**の観点から国の活動を支持します。ダイムラーはこれに関するあらゆる要件を考慮します。

経済制裁及び資金洗浄防止を担当する従業員は、常に**制裁リストを最新にすることを求められています**。現場でビジネスプロセスを担当する従業員には、企業犯罪防止を目的として、このプロセスを確立することが求められます。

知的所有権の保護

特許は私たちの最も重要な資産であり、保護すべきものです。

ダイムラーは多数の特許に加え、**商標**や**意匠**などその他の保護権利を有しています。これらは最も重要な企業資産であり、私たちの競争力と市場での活動力を高めるものです。そのため、私たちはこれらが第三者に乱用されないようにしなければなりません。同様に、他社の知的財産を未許可で使用することを防止しなければなりません。



知的所有権の保護

特許は私たちの最も重要な資産であり、保護すべきものです。

インサイダー取引規制およびインサイダー情報開示

私たちは有価証券取引を公正に行い、インサイダー取引を阻止します。

私たちは、株価に著しい影響を与える情報を、「インサイダー情報の開示(アドホックメッセージ)」としてすみやかに公開します。

私たちは、株式売買を有利にするために、機密情報を利用しません。

インサイダー情報の悪用は禁止されています。当社では、**有価証券取引**を公正にとり行います。**インサイダー取引**を阻止するために、私たちは必要かつ適切な行動をとります。

上場企業であるダイムラーは、インサイダー情報を、「**インサイダー情報の開示(アドホックメッセージ)**」という方法ですみやかに公開する法的義務を負っています。公開前に、当該情報が関係者以外に知らされたり、有価証券取引に利用されることは許されていません。

インサイダー情報になり得るものには、例えば次のような意外性のある情報が含まれます:

- 業績
- 業績予測または受注状況の変化
- 配当の変更
- 計画的合併、提携または事業譲渡
- 重要な技術革新
- 経営組織の重大な変更
- 重要な取引関係の変更

すべての従業員は、インサイダー情報が**適切な時期**に法律で定められた方法で公開されるよう努力します。その時点までは、業務で必要な者以外に、この情報を提供することは許されません。インサイダー情報を持っている者は、個人的にも第三者を通して、その機密情報に該当する可能性のある有価証券を取引してはなりません。

汚職防止

私たちは買収しませんし、買収もされません。

私たちは汚職の機会を与えません。汚職は、競争を歪め、公益を損なうからです。

官庁との対応では、不適切な影響があるのではないかという印象さえも、あらかじめもたれないようにします。

ダイムラーは、**ビジネスのためなら何でもするわけではありません**。私たちは買収しませんし、買収もされません。ビジネスパートナーと顧客には、私たちの製品やサービスに納得してビジネスを行ってもらうのであって、不適切な影響を与えることで彼らから同意を得てはなりません。同様に、私たちも不適切な影響を受けないように心がけ、客観的かつ証明可能な理由をもって決断を下します。

ダイムラーは、従業員、ビジネスパートナーおよび顧客の**腐敗した行動**を容認しません。それは**汚職**に基づく決定は、競争を歪め、自社の資産と評判及び公益までも損なうからです。ダイムラーに損害が及ぶことを避けるため、私たちは不適切であるという印象さえも与えぬようにします。

また、官庁および企業の公共部門の従業員、公務員および政治家と接触する場合も、私たちは**企業理念**に従って行動します。例えば支払いや便宜、その他の利益など、**不適切な影響があるのではないかという印象さえももたれないようにします**。公務でそのような対応が期待されたり、またはそれが普通であると言われたりする場合においても、必ず規程を遵守します。

これらに関しては、定期的な研修と監査などで、汚職行為を防止し、またその様な行為が発見された場合は、処罰します。



贈答と招待

ビジネスパートナーおよび顧客との付き合いにおいて、贈答と招待は適切な範囲でなら慣習として許されます。

ビジネスパートナーへの対応

贈答と招待

贈答と招待は、適切な範囲であれば許されます。

ビジネスパートナーおよび顧客との付き合いにおいて、贈答と招待(便宜)は**適切な範囲**であれば、問題なく許されます。タイムラーに**風評被害**をもたらしたり、資産を毀損したりするのを避けるため、贈答や招待に関する私たちの判断は客観的で証明可能な理由に基づくものであり、不適切な便宜に影響されることはありません。

ビジネスパートナーからの不適切な便宜供与は拒否します。

従業員である私たちは、自分自身や他者のために、贈答や招待、個人的なサービスや優遇を、ビジネスパートナーに**促したり、頼んだり、要求したりすることも禁じられています**。私たちは、不適切な影響があるという印象が生じる可能性があるだけでも、便宜を断ります。値引きおよび優遇措置の場合も、それが適切かどうかに注意を払います。

招待は、ビジネス上の動機が必要であり、その動機に関連していなければなりません。

誰でも自由にもらえる、適切な価値の宣伝用景品やギブアウェイであれば、受け取っても構いません。ビジネスパートナーから食事やイベントに**招待**された場合、それが相手先から自発的におこなわれたもので、ビジネス上の動機があり、不適切な頻度で繰り返されておらず、その招待がビジネス上の動機に関連している場合、それを受けてもよいです。

第三者による便宜の場合は、決められた基準額を考慮します。

当社では、第三者から受け取る贈答については50ユーロ、第三者から招待については100ユーロを適切性を判断する基準としています。その贈答または招待が適切かどうか疑わしい場合は、管理職である上司の意見を仰ぎます。

基準額を上回る便宜は記録に残します。

私たちが基準額を上回る便宜を受けた場合、これを開示して受け取った内容を記録します。但し、租税法のような法的義務に基づく**報告義務**はこれに従います。

ビジネスパートナーや顧客への便宜は適切でなければなりません。

ビジネスパートナーや顧客への贈答と招待の場合も、不適切な影響を与えているという印象を持たれる可能性だけでも避けなければならないという、私たちの基本原則を厳守します。便宜は、適切な額で、通常の営業活動の範囲内で行われる場合のみ許可されます。官庁および外郭団体の従業員、公務員、政治家への贈答および招待に関しては、慎重に適切かどうかを特に厳しく精査します。

ビジネスパートナーの選択

ダイムラーは、誠実な行動をビジネスパートナーにも望んでいます。

潜在的ビジネスパートナーには、リスクに基づいたインテグリティ・チェックを実施します。

当社のビジネスパートナーは、私たちのインテグリティ規程を遵守しなければなりません。

ビジネスパートナーは、自社の下請け業者も私たちのインテグリティ規程を遵守するように留意しなければなりません。

当社のインテグリティ規程と法律を遵守する姿勢を、ダイムラーは従業員だけでなく、**サプライヤーや販売仲介業者などのビジネスパートナー**にも望んでいます。

私たちは契約の締結前に、リスクに基づいた**インテグリティ・チェック**を実施します。ビジネスパートナーの選択を担当する従業員は、法的に許される範囲で、**透明性のある選択方法**を用いて精査する義務を負っています。これによって、潜在的ビジネスパートナーが本インテグリティ規程を満たしているかを確認することができます。

ダイムラーは契約の締結後も、ビジネスパートナーが本規程を遵守することを期待しています。ビジネスパートナーは、この価値基準に合わせ、継続的に自社の行動を振り返る義務を負っています。

ビジネスパートナーは、自社の従業員にインテグリティ規程の内容と、それによって発生する義務について伝えなければなりません。ビジネスパートナーは、この基本原則を**下請け業者**にも伝達し、遵守するよう努める義務を負っています。

ビジネスパートナーがこのインテグリティ規程の指示に**違反**している可能性がある場合、担当従業員はビジネスパートナーと共に、事実の解明をしなければなりません。

副業と委任

副業は、利益相反が生じない場合にのみ認められます。

他の企業の委任を受ける場合は、事前承認が必要です。

従業員が収益を得る可能性のある副業については、それを行う前に担当管理職に通知する必要があります。管理職は、**利益相反**が生じる可能性がないか確認しなければなりません。そのような**利益相反**が生じる場合、企業の正当な利益の障害となる副業は禁じられます。

他の営利企業の取締役会、**監査役会**、審議会や類似する委員会の**委任を受ける場合**、**利益相反**が生じる可能性があります。従って、従業員はそのような任務を、あらかじめ承認を受けた場合のみ受諾することができます。

ビジネスパートナーまたは競合他社の株式を所有することによって、利益相反が生じてはなりません。

ビジネスパートナーまたは競合他社への出資は、開示しなければなりません。

出資

従業員である私たちが、ビジネスパートナーや競合他社の株式を保有したり出資したりすることは、それが広範囲ではなく**わずかな範囲**で行われ、**利益相反**やそのように見える可能性がない場合にのみ許されます。従業員の依頼によって第三者が出資を行った場合でも、この規則は適用されます。

当社に入社する前にすでに、**わずか**とは言えない出資をビジネスパートナーまたは競合他社に対して行っている場合は、担当管理職に報告しなければなりません。これは、従業員が相続によって所有した株式にも当てはまります。



環境保護

私たちは、全世界で模範的な
環境とエネルギーバランスの確立
に努めます。

持続可能性と社会的責任

人権の尊重

私たちは、人権とILOの主要な労働基準を遵守します。

ダイムラーは国際的に認められた人権を考慮し、**経済および人権に関する国連の指導原則**に従って行動します。私たちは、**国際人権憲章の権利と国際労働機関 (ILO) の中核的労働基準**を、特に重視します。

私たちは、労働における基本的な権利を特に重視します。

ダイムラーは、雇用および就業におけるあらゆる種類の**差別**、奴隷、児童労働、人権保護者に対する脅迫、およびその他の人権違反全てを拒絶します。さらにダイムラーは、労働における基本的な権利を守ることに、特に重きを置いています。

ビジネスパートナーに対しても、私たちは人権の保護を求めます。

私たちは、自社だけでなくビジネスパートナー、特に**サプライヤーおよびその下請け業者**に対しても、これらの原則に従うよう働きかけます。私たちは**経済および人権に関する国連の指導原則**に従って、人権に対して細心の注意を払い、適切な措置を講ずる責任を負います。

環境保護

私たちは、全世界で理想的な省エネとエネルギーバランスの確立に努めます。

私たちは製品の製造だけでなく、環境保護においても最善を尽くしています。全世界で**理想的な省エネとエネルギーバランスの確立**を目指し、消費者の高い要求と、現在から未来に向かうエコロジー課題に取り組んでいます。

私たちの課題は、環境に優しくエネルギー効率に優れた製品を、バリューチェーン全体にわたって開発することです。

私たちの課題は、各市場セグメントで、特に**環境に優しくエネルギー効率に優れた製品**を開発することです。環境に適し、エネルギー効率性に優れたデザインを目指すことは、ダイムラーのすべての製品を対象としています。**デザイン**、処分、再利用に至るまで、すべての**製品ライフサイクル**がここでは考慮されます。

すべての製造段階で、最大限に環境を保護し、エネルギー効率を最適化できるように設計されているため、環境への負担とエネルギー消費を最小限に留めています。私たちが環境に与える影響は、社外でも社内でも透明性をもって開示されます。



寄付およびスポンサリング
企業としての成功は、社会的責任
と切り離すことはできません。

政治的利益団体

私たちは、政府およびその関連組織と信頼関係を基本として対話を行っています。

グローバルに活動する企業として、私たちは世界的規模の政治および社会の一員であり、また政治及び世論形成プロセスにおいて信頼できる相談相手でもあります。私たちは信頼関係と事実に基づき、政府、協会および団体、社会的利益団体とコミュニケーションをとり、その方向性を活動に取り入れています。私たちは同時に、**透明性と開示性**に対する社会的関心も考慮します。

寄付およびスポンサリング

企業としての成功は、社会的責任と切り離すことはできません。

企業としての成功は、社会的責任と切り離すことはできません。**ダイムラーWeCare**では、世界中で社会的発展が進み、目に見える利益が生み出されるよう支援しています。スローガン:「従業員と共に、私たちの地域のために、世界中どこでも」

ダイムラーは社会的発展を強化し、機会均等を促進します。

私たちの地域の中で、ダイムラーは各国の社会的発展を強化し**機会均等**を促進するさまざまな活動を支援しています。**このように私たちは公共の福祉を支援し**、福利、教育、学問、芸術、スポーツ、交通安全、自然保護を促進と共に、ボランティアでこれらの活動に参加する従業員をも支援しています。

私たちは寄付に対して見返りを求めません。

寄付とは、慈善団体として認められている団体へのみ行われます。私たちは寄付によって経済的な利益を追求しません。つまり、寄付に対して見返りを要求したり期待したりすることはありません。反対に**スポンサリング**は、私たちの会社の評価と認知度を高めるためのものであり、公共の場に表示することでポジティブなイメージをもたらすために行います。

政治団体への寄付およびスポンサリングは特別な許可が必要であります。

私たちは寄付、スポンサリング、チャリティ活動に関する法律と社内規則を遵守します。ダイムラーが**政治団体**(政党や政府など)に行う寄付やその他の便宜、スポンサリングおよびその他の金銭的利益に対しては、特別な許可が必要となります。その中でも、政党への寄付はDaimler AG取締役会により決定されます。政治分野への便宜は、同様に特別な許可プロセスが必要となります。

ボランティア活動

私たちは従業員のボランティア活動を支援します。

ボランティア活動は社会を強くするものです。企業として、社会に対する責任を真剣に受け止め、私たちは従業員の**ボランティア活動**を推進し、また支援します。その際、民主的活動であるか社会的活動であるか、または福祉・慈善活動であるかは問題になりません。



データの取扱い

デジタル化によって新たなチャンスが生まれるが、同時に使用にあたって重い責任も生じます。

デジタル化

データの取扱い

デジタル化によって新たなチャンスが生まれるが、同時に使用にあたって重い責任も生じます。

私たちは、法律と個人情報の当事者が許可した範囲でのみ、個人データを使用します。

従業員、ビジネスパートナーおよび顧客は、当社において個人データが適切に扱われていることを信頼しています。

私たちは、当社の従業員、ビジネスパートナーおよび顧客のデータを、第三者のアクセスから保護します。

デジタル化によって新しい作業プロセス、新しい部門および新しいモビリティ概念が生まれます。データを用いることで、顧客と従業員に付加価値を提供する革新的サービスが可能になります。私たちが未来のチャンスをどのように活かし、どのように顧客や従業員の要望を中心に置くべきかについては、[データ取扱いに関するビジョン](#)の原則に記載されています:

- 事業の潜在力
- 顧客および従業員にとっての付加価値
- データ品質
- 透明性
- 選択手段
- データの安全性
- データ倫理

データの保護を人格権として尊重することで、従業員、ビジネスパートナーおよび顧客から私たちは信頼を得ることができます。そのため、法律、規則、[タイムラーのデータ取扱いに関するビジョン](#)の原則、および[個人情報](#)当事者が許可した範囲でのみ、[個人情報](#)を処理し使用します。

この原則には、個人データの保護だけでなく、あらゆるデータについても、法的に求められる適切な取扱い方法が記載されています。これに従って、入手時点からデータ保護を考慮し、集中管理し、また責任をもって保存し、共有し、使用します。個人データをどの様に取扱うか、またどんな使用目的で、どこに第三者提供されるのかなどについて、当社の従業員、ビジネスパートナー及び顧客に対して、私たちは透明性を持っています。

当社にデータを委託した者は、当社管理のデータが安全であることを信頼しています。その為、すべての従業員は、第三者による不正アクセスから[個人情報](#)を保護し、不正使用を防止するために必要な予防措置を講じる責任を負っています。



人工知能(AI)
責任を持ってAIをデザイン
し利用します。

ソーシャルネットワークは、今日ますます世論の形成に大きく影響しています。

私たちはソーシャルメディアへの扇動的、侮辱的または差別的な投稿を容認しません。

ソーシャルメディア

Facebook、LinkedIn、Instagram、Twitterのようなソーシャルネットワークは、世論の形成にますます大きな役割を果たしています。私たちもソーシャルネットワークと独自のソーシャルメディアチャンネルを、従業員、ビジネスパートナー、顧客および一般の人々とのコミュニケーションのために利用しています。

私たちは世界に開かれた、グローバルに活動する企業であり、私たちの企業理念には、寛容と敬意が基本事項であると記載されています。勿論、従業員のプライバシー保護にも、これが適用されます。ソーシャルメディアへの扇動的、侮辱的または差別的な投稿を私たちは容認しません。

許すことができない投稿とは、例えば以下のような内容のものを指します:

- 憲法に違反する内容
- 他のユーザーの尊厳を傷つける内容
- 企業の平穩を乱す内容
- 当社および従業員の評判を損なう内容
- 重要なパートナー関係を悪化させる内容

人工知能

人工知能 (AI) を用いて、知的作業の自動化を図ります。

人工知能 (AI) には、知的作業の自動化を図るためのさまざまな方法論が含まれます。「AI」が持つ意味は幅広いですが、今日の狭義では、最新の機械学習の進歩を指すことが少なくありません。AIはすでに自社製品およびプロセスの一部に組み込まれており、将来的には自社製品、作業方法や従業員にますます大きな影響を与えることになります。

人工知能 (AI) の持つ可能性を継続的に利用するためには、自社の厳格なAI原則に従うことが必要です。これには、人工知能 (AI) の開発および使用に関する倫理的な原則が含まれます。ここでは、責任ある人工知能 (AI) の利用、説明の可能性、プライバシーの保護、セキュリティおよび信頼性が考慮されます。

04

インテグリティ規程の遵守



適用範囲

すべての従業員は、本規程の内容を把握し、指針にしなければなりません。

私たちのビジネスパートナーも本規程を守る必要があります。

このインテグリティ規程は、すべての従業員に適用されます。このため、すべての従業員がインテグリティ規程の内容をよく理解し、よく知り、これに従って行動しなければなりません。特別な規程またはその他の規則がない限り、インテグリティ規程を守らなくてはなりません。

私たちは**ビジネスパートナー**にも、本規程を把握し、遵守することを望んでいます。このインテグリティ規程の基本原則を共有できなければ、私たちのビジネスパートナーとは言えません。

管理職に対する私たちの期待

ダイムラーは、管理職が模範的モデルとなることを期待しています。

管理職は互いを尊重し合う文化を促進します。

責任感のある行動には、責任を自覚した管理職が必要です。そのため、ダイムラーは全レベルの管理職に、模範的なモデルとして、誠実な行動をとり、従業員を導くことを期待しています。管理職は優れた業績を達成できるよう努めると同時に、常に**企業理念と行動規範**および本規程を遵守しなくてはなりません。そのチームにとって管理職は刺激を与える模範でなくてはなりません。

管理職は従業員に**敬意を表し**、チームの連帯感を促進します。管理職は従業員のために適切な基本的知識を有し、従業員に力を与え、全ての責任を引き受けなくてはなりません。管理職は、共にその目標を達成できるよう、チームメンバーにその目的や背景を説明します。そして管理職は互いを尊重し合う文化を促進します。

過ちの扱い

私たちは、個人としても、組織としても、過ちから学ぶ姿勢が大切です。

過ちに関するこのような文化は、オープンな環境、公平な印象、そして信頼をもたらします。

個人として、また組織として、私たちが**過ちから学ぶ**ことは自己理解の一環でもあります。そのため、過ちへの対応は透明性をもって開示し、経験を共有することでさらに発展し、それが革新の可能性をもたらします。

そのための前提条件は、間違った決定を認識し、それについて話し合い、修正できるような企業文化を築くことです。責任を引き受け、従業員がミスについてためらわずに話せる職場環境を作り促進することは、私たち一人ひとりにかかっています。私たちは過ちを明らかにした従業員に対し公平性と責任を持って対応します。

規則違反を発見した場合は、躊躇せず報告します。

私たちの内部通報システム(BPO)は、すべての従業員、ビジネスパートナーおよび第三者に公開されています。

秘密保持と公正さはBPOの重要な基本原則です。

従業員は、本規程に関する詳しい情報をイントラネットで確認することができます。

規則違反の取扱い

法律、規程およびその他の規則に対する違反は、ダイムラーとその従業員にとって、**多額の経済的損失**を被ったり、刑罰を受けたり、罰金を支払うリスクがあり、さらに企業イメージが低下し、風評被害が起こり、最終的に国内市場から締め出される結果につながるおそれがあります。従って、ダイムラーと従業員の損害を回避し、共に守るためには、適切な時期に違反に気づき、規則違反を発見した時、または規則違反の疑いがある場合、私たちは躊躇せず報告します。

この内部通報システム(BPO、**ビジネス・プラクティス・オフィス**)はすべての従業員、ビジネスパートナーおよび第三者に公開され、企業と従業員にとってリスクの高い規則違反を誰でも報告できます。また、従業員が低リスクの規則違反を報告したい場合は、**その他の連絡窓口**が用意されています。

BPOは通報を受けた案件の完了まで、担当します。この場合、BPOは最高レベルの**秘密保持**を保証します。さらに、私たちの内部通報システムは、内部通報者の扱い及びその通報に該当する従業員の扱いにおいても、公正に進める事に重きを置いています。同時に、衡平の原則が守られ、個別のケースごとに、どのような措置が適切でふさわしいかを十分検討します。

規則違反を報告する際は、BPOの bpo@daimler.com に連絡して下さい。

インテグリティ規程に関するサポート

このインテグリティ規程は、すべての疑問や状況に関して具体的な回答を与えることはできません。日常業務で確信がなく、方針を知りたい場合、従業員はイントラネットの**ウェブサイト「Our Integrity Code (私たちのインテグリティ規程)」**で担当窓口詳しい情報を確認することができます。

誠実な行動について、または本規程に関する質問がある場合は、Infopoint Integrity (インフォポイントインテグリティ)がアドバイスを行います。Infopoint Integrity (インフォポイントインテグリティ)には、info.integrity@daimler.com からアクセスできます。

05 用語集



いじめ	敵意、嫌がらせまたは差別などで被害者を傷つける継続的かつ積極的、支配的行動。
意匠	意匠は、製品の視覚的・創造的形態を守るものである。あらゆる工業製品も工芸製品も守ることができる。その前提となるのは、デザインが出願の時点で新しく、既存のデザインと区別できることである(いわゆる独自性)。ただし、これらの要件が遵守されているかは、意匠が登録される前にはドイツ特許商標庁に審査されず、紛争の場合に民事裁判所によって審査される。登録により、意匠権者はそのデザインを独占的に使用することができる。意匠権の存続期間は、出願日から最長で25年である。
インサイダー情報の開示	上場企業による公表。公表内容は、対象企業の株価及び株式市場に影響を及ぼす可能性のある情報などを含むインサイダー情報を指す。
インサイダー取引	ある投資家が他の投資家よりも有利になるように、公表後に株価に大きな影響を及ぼす可能性のある非公開情報を事前に利用する証券取引。
インテグリティ・チェック	取引先候補が、違法で不適切な手段を使っていないかなど、ダイムラーの倫理規範を遵守しているかどうかを確認する。
汚職	利益を得るために役職や地位を濫用すること。違法行為の典型的手段は賄賂である。
監査役会	取締役の職務の執行を監視する監査役で作られたダイムラーの最重要管理組織。
機会均等	性別、年齢、出身地、宗教などの個人特性に関係なく、能力や成果に応じて全従業員を起用、育成、開発する。
企業理念と行動規範	企業理念は、当社の企業価値観に基づく基本的な指針である。これらの理念は、日常の判断に方向性を示し、全従業員の指針となることを目指す。 行動規範は、すべての従業員が遵守すべき特定の規則である。これらの規則は、企業価値、企業理念および社内外であらかじめ義務付けられた指針に基づいている。
グローバル・コンパクト	責任のある企業経営を促すため国連が提唱するイニシアティブ。グローバル・コンパクトは、持続可能な成長を実現するために人権、労働、環境、腐敗防止などの10原則に基づき、世界的で持続可能な目標を追求していく取り組み。
経済および人権に関する国連の指導原則	経済および人権に関する国連の指導原則とは、経済活動における人権侵害を回避するため、国際的に参照できる基準を形成するものである。ここでは、経済活動を行う企業の責任も対象となる。
国際労働機関(ILO)の中核的労働基準	国際的な貿易秩序の枠組みにおいて、人間らしい労働条件および労働安全を保証するために、国際労働機関 (ILO) によって定められた社会的基準。
個人情報	自然人に直接または間接的に関連するすべての情報。それには、名前、住所、年齢などがある。
個人を尊重し活かす	すべての従業員を平等かつ公正に取り込み処遇することを目的とした、多様性を意識して尊重する、総合的な取り組み。
差別	社会的背景、性別、肌の色、宗教などに基づいて区分し、客観的な理由のない不平等な取扱いを作り出し、理由付けし、正当化すること。
資金洗浄	違法に手に入れたお金を経済取引の中で合法的なお金にすること。
持続可能性	経済的、環境的、社会的側面を調和させることを目的とした現在と将来の事業活動の原則。

商標	商標とは、企業の製品及びサービスを他社のものと区別するための識別標識である。単語、絵、音、立体形状、色彩その他の識別標識は、図形により表わされることを条件として、DPMA (ドイツ特許商標庁)登録簿に商標として登録することができる。ドイツの商標は10年間存続し、その後何度でも更新することができる。
省エネとエネルギーバランスの確立	特に環境負荷の面から見た、エネルギーの利益と消費の比率。
人工知能 (AI)	人工知能(AI)については、一般に広く浸透している共通の定義というものが存在しない。ここでは以下のように理解される: 「人工知能 (AI) には、知的作業の自動化を図るためのさまざまな方法論が含まれる。「AI」が持つ意味は幅広いが、今日の狭義では、最新の機械学習の進歩を指すことが多い。「機械学習 (ML) 」は、AIの方法論を代表するひとつであり、大量のデータから複雑なパターンを見つける数学的手法に基づいている。さらに、機械学習の一分野に該当するのがディープラーニングである。これは(深層)ニューラルネットワークを用いて、非常に膨大な量のデータの中から複雑なパターンを見つけることを可能にする。
制裁	違反国に圧力や制裁を加える国際法に基づく措置。典型的な制裁には、禁輸などがある。
製品ライフサイクル	製品の設計から製造、廃棄、リサイクルまでのすべての段階。
ソーシャルメディア	「ソーシャルメディア」とは、個人ユーザーや公的機関および企業が、写真やビデオなどの独自のコンテンツや投稿をアップロードしたり、経験や意見を交換したり、他者のコンテンツをシェアしたり、コメントしたり、レビューしたりできるプラットフォームやネットワークのこと。最も人気のあるソーシャルメディアプラットフォームには、Facebook、Twitter、Instagram、ブログ、Wikipedia、YouTubeなどがある。
その他の連絡窓口	従業員が低リスクの規則違反を報告する場合は、例えば上司、人事部門の担当者、コーポレートセキュリティ、または業務の関係者代表などが対応する。
ダイムラーWeCare	グローバルに活動する企業として、世界全体の進捗を促進することが、我々の目指すところであり義務でもある。 支援と共に私たちは目に見える利益を作り上げていく。
ダイムラーを代表する意見	社外コミュニケーションの統一原則。「ダイムラーを代表する意見」(One Voice Policy) の目的は、この原則に基づきグループ企業内で一貫したコミュニケーションを確保することにある。そのため、メディアとの対応を許可された従業員が、コミュニケーション部門に承認された情報に限って伝達することができる。但しマーケティング部門が責任を負う販売支援のための情報、例えば製品カタログや価格リスト等については例外となる。
多様性	性別、年齢、出身地、性的指向その他の特徴などによる個人差。
追従を許さない卓越したサービスおよび商品への要求	優れたサービスや特別な製品でそれぞれの分野でマーケットリーダーになろうとする要求。
データの取り扱いに関するビジョン	データの取り扱いに関するダイムラーのあり方。それは、「データに基づいた持続可能なビジネスモデルを実現するため、お客様のニーズに焦点を当て、責任を持ってデータを取り扱う。」その際、次の7つの原則を守ることが重要である: 事業の将来性、顧客に対する付加価値、データ品質、透明性、選択手段、データの安全性、データ倫理。
特許	知的財産権は、新規の製品、技術または仕様にも与えられる。特許は、第三者が保護された発明を使用できるかどうか、またその方法を決定することができる独占権を特許所有者に保証する。ドイツでの特許権の存続期間は20年である。

取引禁止国	特定国との貿易を禁止する政府命令。
ビジネス・プラクティス・オフィス (BPO)	リスクおよび高いリスクを伴う違反行為を報告するために、全従業員とビジネスパートナーに開かれたダイムラーの内部通報者システム。高いリスクには、違法行為、独占禁止法違反、資金洗浄、マネーロンダリングなどの犯罪が含まれる。
風評被害	ある人物または企業の対外的なイメージを傷つけること。風評被害を招く行為には、例えば法律違反、社内および社外の規則違反や協定違反がある。特に独占禁止法違反、インサイダー取引および贈収賄には高いリスクが潜んでいる。
不適切な影響を与えている	金銭や贈り物などの利益を提供することで、人に影響を及ぼすこと。
法律や規制に適合していること	製品安全における規制遵守および技術基準への準拠とは、技術要件を規定する限りにおいて、国内および国際的な法的要件、技術規格、標準、科学技術の現水準およびダイムラー内部のガイドラインへの準拠を意味する。
ボランティア活動	公共の利益に奉仕する目的で行う自発的で無報酬の活動。
利益相反	利益相反は、個人または個人の経済的利益がダイムラーや取引先の利益と衝突するときに発生する。利益相反を解決できない場合、その個人を特定の役職または職務から解任する必要がある可能性がある。また、利益相反につながる要因としては、贈答品、勧誘、二次雇用、競合他社の株式保有などがある。
浪費	会社の原資を不用意に無駄に使う事
声を上げる文化(スピークアップ)	不確実な事や潜在的に存在するリスクを該当する担当者に話すことができる企業文化のこと。一人ひとりが自由に意見を言ったり批評したりできる環境。

ダイムラー概要 – ブランドおよび事業部門

Mercedes-Benz Cars



MAYBACH



Mercedes *me*



Daimler Trucks



Mercedes-Benz Vans



Daimler Buses



Daimler Mobility

Mercedes-Benz Bank

Mercedes-Benz
Financial Services

Daimler Truck Financial



Daimler AGは世界で最も成功を収めている自動車メーカーのひとつです。事業会社であるMercedes-Benz Cars、Daimler Trucks、Mercedes-Benz Vans、Daimler Buses、Daimler Mobilityとともに、プレミアム乗用車の最大サプライヤーの1つである車両メーカーであり、世界中に展開す

る最大級の商用車メーカーでもあります。ダイムラー・モビリティでは融資、リース、フリートマネジメント、保険、投資およびクレジットカードならびに革新的なモビリティサービスを提供しています。詳細：www.daimler.com

Daimler AG
Mercedesstraße 120
70327 Stuttgart
Germany
www.daimler.com

2019 10月現在。
ソリューションイントラネットの「企業方針データベース (ERD)」で最新版を入手できます。